

議会 ニュース

＝「12月定例会」＝

12月11日の一般質問で伊藤永慈議員、秋元洋子議員が登壇し、教育委員会職員の取り扱い、市町村合併、消防署合併、IT講習等について、町長らに質問しました。

内容は次のとおりです。

伊藤永慈議員

「完全学校五日制により総合的な学習が必要とされていることについてどのように考えているか。古川純一君の経験を生かすスポーツ指導の考えはないのか。」「職員の資質向上と町民サービス向上のために窓口研修や県及び企業への派遣を実施すべきではないか。」「市町村合併の対策はどうなっているのか。」「農業振興計画を生産者に提示し、より多くの要望を取り入れ計画を進めるべきではないか。」

鳴海町長

「古川君といえども事務をおろさかにできないことから十分活用し切れない現状だが、南中飛行隊復活のためにも小学校からのスキーの底辺拡大を図るなど今まで以上に古川君を活用していきたい。」「職員の資質向上のためにも県・市町村との職員交流、県庁への派遣など予算が可能ならば職員の交流も図っていきたい。」「合併について町民意識が薄いことから合併パターンによるメリット・デメリットをまとめ早い機会に勉強会をひらきたい。動きとして金木以北の二町二村の長が話を進めるべきだということから再度町民アンケートを実施し、協議会設置の確な対応をし、協議会設置

に向けて前進していく。」「基幹産業である農業の低迷はいろいろな面に波及することから、厳しい財源ですが農業に特段の力を入れていきたい。」「**中谷教育長**

「生きる力をのばす総合学習では環境・国際・情報・福祉・健康問題などが取り上げられ、勉強内容は学校主体となる。五日制による二日の休みに子どもたちを放っておけないので、社会教育を実施するために各方面へ手紙により協力をお願いしている。町民が五日制と二日の休みについて関心を持ってもらうため十二月の広報で町民にアピールしたい。」「**農林課長**

「農業振興計画書をより多くに方々に配布し周知を図る。また計画の見直し及び新規策定時には多くの生産者の意見を聞きながら行う。」「**教育次長**

「平成十四年度から毎週土曜日、中央公民館で行事がないときは社会教育の場として開放、また農業者トレーニングセンターの土曜日閉館時間を小中学生が利用しやすい時間帯として午前九時から午後九時までとする。新ジャンプ台で小学生を対象とした古川君指導のジャンプ教室開催な

ど古川君の経験と指導力を十分生かせる体制にしていきたい。」「**秋元洋子議員**

「金木町と中里町の消防署の合併事実関係について報告していただきたい。」「IT講習会で受講者への対応について知りたい。」「平成十二年度の生涯学習活動支援事業を県に予算要求したのか。」「EM菌について活用方法を考えていないのか。」「環境問題及び環境経済についてどうゆうふうに考えているのか。」「**鳴海町長**

「交付税の削減などから行政改革の一環として施設の統合も考えたならば、当然消防署の統合も視野に入ることから、もし合併したときは職員の数数が幾らぐらい削減になって、どれぐらいのコストが浮くのか試算をお願いしたのであって、町民の財産と生命を守る消防署の合併は時間が必要である。」「EM菌が環境汚染を防ぐものであれば十分考えていく必要があることから、担当課と相談しながらEM菌の良し悪しを再度確認したい。」「環境に係る広域のゴミ焼却施設は必ずなくてはならないものなので、再度検討しながら一日も早い完成のために努力していく。」「

角田助役

「EM菌は水質浄化、悪臭軽減など環境保全に役立つという考えはあるが、EM菌は特定商品名であり国・県から情報がないことから町として町民に配布することは今のところ考えていない。普及活動や勉強会については側面から支援していきたい。」「環境汚染の復元には膨大な費用と時間がかかることから、環境汚染を防ぐために町民一人ひとり、地域・町全体などで取り組まなければならない。このことを町民にこれからもPRし、また学校教育の場でも行うべきだと考えている。」「**教育次長**

「IT講習会は十月から来年三月まで平日夜間の四日間Aコースを二十二回と休日昼間の二日間Bコースを十回実施し、パソコンの基本的な技能を十二時間で学ぶものである。」「予算要求については昨年十月下旬に県よりパソコン導入に係る定額補助事業の希望調査がありました。」「IT講習会場の制限と予算の確保や準備、開催期間の制限などから教育委員会事務局内の会議で検討した結果見送りになつた。今後は重要な事業は教育委員会に諮り、町長に相談し決定していきたい。」「

国民年金情報

年金受給者が死亡したときは 届出を忘れずに

年金を受けている方が亡くなったときは、遺族の方はすみやかに「年金受給権者死亡届」を市町村役場か社会保険事務所に提出してください。

この「死亡届」には、「年金証書」のほか、死亡の事実を明らかにできる書類（戸籍抄本、死亡診断書など）を添付してください。

この届出が遅れますと年金を多く受け取りすぎて、あとで返さなければならなくなることもありますのでご注意ください。

また、死亡した方が受け取るはずであった年金額がある場合は、死亡当時その方と生計を同じくしていた①配偶者②子③父母④孫⑤祖父母⑥兄弟姉妹の順で未支給年金を請求することができます。

この場合「未支給・年金保険給付請求書」に「年金証書」、「戸籍謄本」と年金を受けていた方と請求者が生計を同じくしていたことがわかる書類（住民票等）、請求者名義の口座の通帳等を添えて、市町村役場か社会保険事務所に提出してください。

国民年金保険料の 納付方法が変わります

平成14年4月から国民年金保険料の納付方法が変わります。

今まで、各市町村から送られていた「国民年金保険料納付案内書」は国（社会保険事務所）から直接送られることとなります。

これまで市町村が指定した金融機関等に限られていた納付場所が、全国の銀行、信用金庫、農協、漁協、信用組合、労働金庫の本・支店及び郵便局に拡大されることとなります。

また、納付組織を活用した納付ができなくなりますが、口座振替での納付は引き続きできますので口座振替をされていない方は、納付忘れ防止に活用することをお勧めします。

口座振替の申し込みや相談は、社会保険事務所、市町村役場または各金融機関窓口をお願いします。

可 決 事 項

- 【議案第53号】 平成13年度金木町一般会計補正予算(第5号)案
- 【議案第54号】 平成13年度金木町介護保険特別会計補正予算(第2号)案
- 【議案第55号】 平成13年度金木町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)案
- 【議案第56号】 平成13年度金木町水道事業会計補正予算(第3号)案
- 【議案第57号】 平成13年度金木町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)案
- 【議案第58号】 金木町介護円滑導入収納対策基金条例案
- 【議案第59号】 政治倫理の確立のための金木町長の資産等公開に関する条例の一部を改正する条例案
- 【議案第60号】 伊藤忠吉・万寿子記念奨学基金条例の一部を改正する条例案
- 【議案第61号】 金木町介護保険条例の一部を改正する条例案
- 【議案第62号】 金木町農業集落排水処理施設の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例案
- 【議案第63号】 青森県市町村等非常勤職員公務災害補償等組合同約の一部を変更する規約案
- 【議案第64号】 工事の請負契約の件
- 【議案第65号】 人権擁護委員の推薦の件
- 【議案第66号】 人権擁護委員の推薦の件
- 【議案第67号】 平成13年度金木町一般会計補正予算(第6号)案
- 【議案第68号】 平成13年度金木町介護保険特別会計補正予算(第3号)案
- 【議案第69号】 平成13年度金木町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第4号)案
- 【議案第70号】 平成13年度金木町水道事業会計補正予算(第4号)案
- 【議案第71号】 平成13年度金木町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)案
- 【議案第72号】 金木町生活安全条例案
- 【議案第73号】 金木町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案
- 【報告第14号】 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件(平成13年度金木町一般会計補正予算(第4号))
- 【発議第8号】 高規格幹線道路網の整備に関する意見書(案)
- 【発議第9号】 金木町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例(案)

太宰をしのぶ・その文学の魅力④⑥

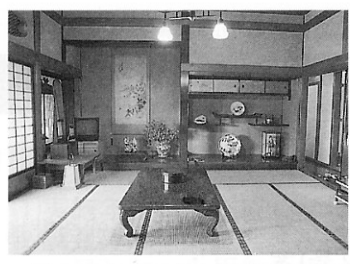
津軽・金木・太宰……(12)

金木町太宰会々長
木下 巽

駆け込み宿泊

平成七年十二月初め、(株)K社の会長から「斜陽館が旅館を閉じる前に、泊まってみたいか。」と誘いを受けた。最後のチャンスとばかり、お供をすることにした。いわば「駆け込み宿泊」である。K社の会長、奥さんとその妹、それに家内と五人である。K会長は「住宅事業」に着手し、住宅建築業界から注目されている人である。

午後四時に入館、二階の「鶴の間」(金の襖の部屋)に案内された。十二・五畳敷の広さで、正面が「出書院つき床の間」と「違い棚」で二間半。透かし彫りの欄間。秋田杉根元利用の「格天井」。そして金の襖と、贅を尽くした主賓室である。



▲贅を尽くした豪華な座敷「鶴の間」(グラフ青森「93 住んでみたい青森の住宅」より転載)

黒滝さんの配慮で、夕食前に全室を見学できた。K会長の観点は、住宅の構造や素材、そして間取りとその技術であった。特に、和洋折衷建築の間取りと洋風部分の技法、ロココ調の階段と鹿鳴館風の洋室の諸造作に関心を寄せた。また和風部分の天井や欄間、床の間などの多彩な匠の技に目を光らせていた。

夕 餉

夕食は、一階の「仏間」で、お膳を囲んだ。広い座敷にたったの五人だけだった。料理は津軽的で、口あたりが良かった。身内だけなもので話が弾み、旧津島家という独特の雰囲気味わいながら夕餉を終えた。この部屋は、津島家の人々が、仏壇に向かってお経をあげた神聖な場所であったのだ。

夕食後、「太宰治文学アルバム」で太宰の生い立ち、数々の事件とその終焉、そして作品について説明した。K会長は「太宰も、真実を求めた如來の一人だね。」と感想を述べた。

邸宅の価格

ついでに「今、こんな住宅を

建てると、どのくらいの額だろう？」と、野暮な質問をしてしまった。「五億か、多くても六億円だろう」と、いとも簡単に言っただけだ。K会長は十数年前、G市にケヤキを中心に一億五千万円の住宅を建築していた。

いま、斜陽館は十三億円か十四億円と言われているようだが、確かな根拠はない。当時の金で四万円、米七千俵が一般的な定説である。現在の米の値段で換算しても無理がある。今、中規模なお寺でも四〜五億円で建つとも言われる。専門家から見ても四〜五億円、上限七億円で無理がないような気がした。

復元設計担当の、弘前文化財建築研究所の坂田健栄氏は、「邸宅に使われているケヤキや特殊材等は、入手困難である。今の価格でいくらと言わない方がいい。」という見解だった。

雨 戸 の 音

午後十時過ぎ、就寝のため割り当てられた部屋に移った。K会長夫妻は「鶴の間」の隣「亀の間」へ。妹さんは二階洋間の畳の部屋。私どもは、二階西表

通りの北側の和室「菊の間」である。天気予報は、低気圧が津軽北部を移動中とあった。

北西の風が強まってきた。この「菊の間」は、北西の風がまともに吹きつける一角にある。石油置きストープは、用心のため消火した。生家に最後の宿泊、いい気分ですべての襦袢を脱いだ。しかし、じわじわと冷えてくる。吹き付ける風も強さを増してきた。それに合わせて、雨戸がガタガタと一斉に音をたててきた。異常な音だけに廊下へ出てみた。西表通りと北側が全部雨戸で、一本の敷居で繋がっているようだ。雨戸の上部に、小さい木片で音を止める「しかけ」がついていた。くるりとまわして全部しめたが、隙間だらけである。強風は容赦なく雨戸を叩いた。

作文「吹雪の朝」

寝つきのよい家内も、寝つけないでいる。更に天井の方で「バフツ」という音がする。電氣をつけてみたら、障子風の欄間が風で浮きあがって、バフツという異様な音を出していた。欄間上部の両端を金具にひっかけ、下のほうが浮き上がるようになっていた。この大きな団扇みたいな欄間は、夏は快適だが冬には絶対に適さない。

とつづく午前一時はすぎている。「帰ろうか」と相談した。その時、ニヤーンと猫のなき声

が聞こえてきた。ロココ調のモダンな階段の下からだ。薄暗いだけに不気味であった。風と雨戸の音、欄間のバフバフ、猫のなき声と狂騒曲になっていた。そのとき部屋の襦袢が視野に入った。真野暁亭の描いた「四季図襦袢」の名画だという。水墨で描かれた飄々と寂しげな作風は、今の状況には合わない。

大正十二年二月、津島修治が作文に「ガタガタと雨戸の鳴る音が目ざめた。しばらくは寝床の中でモゾモゾして居たが、やがてむっくり起きて手早く着物を着て室を出た。洗面所に行く」と手ぬぐひが、こぼって固くなって居る。手洗ばちの水にうすい水がはつてある。井戸の水をくみだして顔を洗った。その冷たいこと、手にも顔にも水がはりつまった様である……と……。雨戸がガタガタ鳴る、手ぬぐいが凍る。修治少年よ、よくぞ書いておいてくれた。

暖房はおもに炉と火鉢だけに、修治少年は、コトンの下着に足袋を履き、着物を着て「シバレルなあ……」と、炭火に手をかざし暖をとったのだらう。この駆け込み宿泊は、多少きびしかったが、得難く貴重な体験だった。

脳卒中について

内科 井沼 洋

脳卒中（いわゆる「あたり」）の発症は、例年の冬と比べて今年はやや少ないようです。それは暖冬のせいかもしれません。高血圧や糖尿病、高脂血症に対するこの地域の医療活動、保健活動によるものであればと念じています。

脳卒中は日本人の死因の約十六パーセントと高く、一命をとりとめたとしても片麻痺、言語障害などの後遺症を残すことがあり、重症の場合は寝たきりになるなど日常生活に支障をきたすこともまれではありません。

現在、種々の介護サービスが受けられるようになりましたが、いまだ家族へ大きな負担がかかることも少なくありません。

脳卒中の分類

脳卒中は脳の血管がつまる脳梗塞と、脳の血管が破れる脳出血に分けられます。脳卒中のおおまかな分類を示しま

す。

一過性脳虚血発作

一時的に脳の血管がつまり再開通したもので、軽い麻痺を起こすがすぐよくなります。

脳血拴

安静時に発症することが多く、手足のしびれや片麻痺で気づくことが多く、徐々に症状が進行することがあります。

脳塞栓

血液のなかにできた血栓（主に心臓）が脳の血管をつまらせることが原因であり、発症は突然で片麻痺や言語障害の症状がみられます。

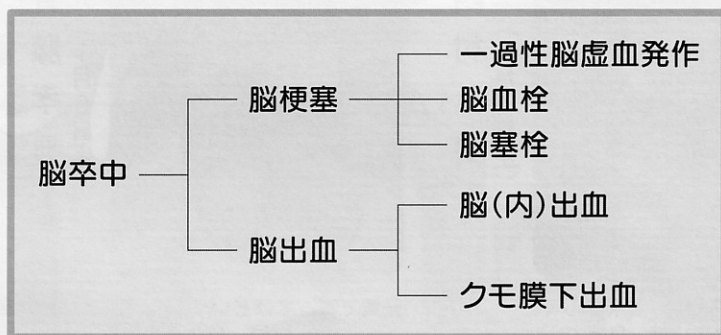
脳（内）出血

脳の実質に出血するもので活動時に発症することが多く、急に頭痛や片麻痺、言語障害がみられ、しばしば意識障害を伴うことがあります。

クモ膜下出血

脳を包むクモ膜の下に出血するもので、多くは血管にできたコブ（動脈瘤）の破裂が原因です。突然の激しい頭痛

で発症し、嘔気・嘔吐を伴うことが多く、片麻痺などの神経徴候を伴うことはまれです。



脳卒中の初期症状

次にあげる項目は脳卒中の初期症状が強く疑われますので、主治医に相談してください。

- 片方の手足がしびれる
- 急に手足から力がぬける
- 片足を引きずっていると云われる
- モノにつまずきやすい

脳卒中の予防

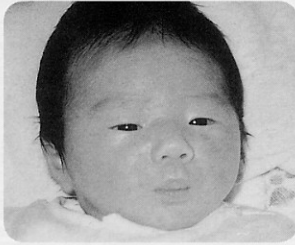
- フラフラしてまっすぐに歩けない
- 食べ物、飲み物にむせやすい
- 急にめまいがするようになった
- モノが二重に見える
- 言葉が出てこない。理解できない
- 高血圧や糖尿病、高脂血症は脳卒中発症につながる動脈硬化を促進する原因となります。これらは生活習慣病と言われ、日常生活に起因することが少なくありません。「高血圧」は塩分の取りすぎ、運動不足、肥満、アルコールの飲みすぎ、ストレスなどが関係しています。「糖尿病」や「高脂血症」は脂っこいものの取りすぎ、食べすぎ、肥満、運動不足などが関係しています。タバコは動脈硬化促進の大きな原因のひとつです。
- 高血圧や糖尿病、高脂血症の見られる人は生活習慣を改善するとともに、それでもコントロールが得られない場合には病気の治療を続け、動脈硬化の促進を遅らせることで脳卒中発症の予防に努める必

要があります。

日常生活での注意点

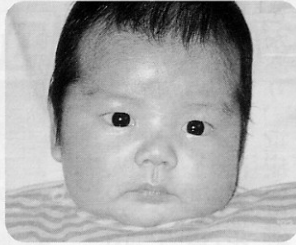
- 病気がうまくつきあい、快適な生活をおくるための日常生活における注意点九ヶ条を最後にあげたいと思います。
- 塩辛い食品はひかえ、みそ汁もうす味にする。また、めん類のスープは全部飲まないようにする。
- 間食や偏食を避け、栄養バランスのとれた食事をとる。牛肉や豚肉などはひかえめにし、魚や野菜（特に緑黄色野菜）を多く食べる。
- 禁煙を実行し、アルコールもひかえる。（日本酒なら一日一合、ビールなら中ビン一本までとする）
- 水分（お茶や水など）は十分にとる。
- 規則正しい排便を心がける。
- 熱い風呂に長く入るのはさける。（適温は四十度程度）
- 毎日軽い運動をする。
- 十分な休養と睡眠をとる。
- 病院でもらった薬は指示を守って服用する。また、薬について分からないことや聞きたいことがあるときは、担当の医師や薬剤師にたずねる。

はじめまして



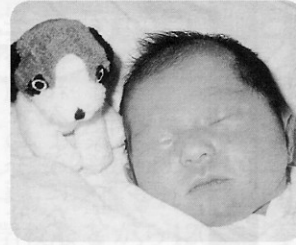
葛西 雷葵くん
(12月25日生)

早く大きくなれ
(父 拓より)



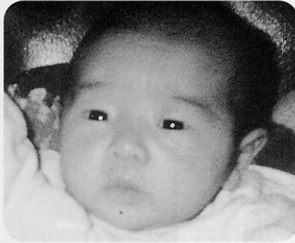
白川 裕己くん
(1月4日生)

体が丈夫で気持ちの優しい子に育ってほしい
(父 幸博より)



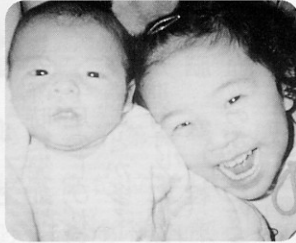
工藤 瑞佳ちゃん
(1月12日生)

想いやりのある女の子に育ってほしい
(母 幾世より)



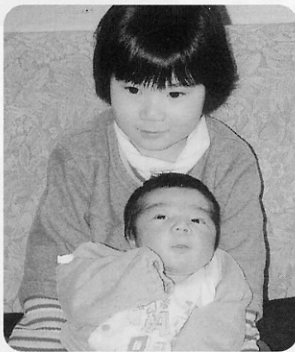
工藤 優菜ちゃん
(1月17日生)

早く一緒にダンスおどろうネ!
(姉 莉菜より)



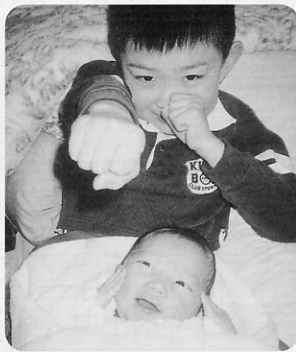
泉谷 錬くん
(12月28日生)

健康な子に育ってね!
(母 るみより)



西村 壮史くん
(1月15日生)

わんぱくでもいい たくましくそだってほしい
(姉 泉紀より)



斉藤 孝典くん
(1月6日生)

元気で育ってほしい
(母 恵久子より)

戸籍の窓

一月届出分

おめでと

葛西 雷葵 (拓) 喜良市

近藤 孝太 (則彦) 金木	工藤 優菜 (隆樹) 金木	工藤 瑞佳 (和仁) 金木	西村 壮史 (長幸) 金木	秋元 美史 (春美) 嘉瀬	白川 裕己 (克彰) 喜良市	今井 斗三 (幸博) 金木	泉谷 錬 (孝人) 川倉
---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	----------------	---------------	--------------

お詫びと訂正

広報かなぎ一月号に誤りがありましたので訂正してお詫び申し上げます。
▼十ページ
「はじめまして」欄の西堀 杏菜ちゃんが杏奈となっていました。山田愛夢ちゃんのふりがなあむがあいむとなっていました。

おくやみ

原田 源次郎 (82才) 藤枝	黒川 伊佐雄 (78才) 嘉瀬	三浦 カナ (82才) 金木	吉田 登志一 (75才) 蒔田	白川 フサ (85才) 金木	澤田 貞 (85才) 金木	山中 富士男 (96才) 嘉瀬	伊藤 為弘 (71才) 嘉瀬	泉谷 幹男 (61才) 川倉	大橋 慶作 (85才) 喜良市	伊丸岡 浅五郎 (94才) 喜良市
-----------------	-----------------	----------------	-----------------	----------------	---------------	-----------------	----------------	----------------	-----------------	-------------------

おしあわせに

白川 潤 (徳雄) 金木	原田 留理子 (昭治) 嘉瀬	片山 孝貴 (栄一) 木造町	古川 理恵 (政信) 喜良市	磯川 和史 (利夫) 三沢市	桑田 歩 (豊) 喜良市	外崎 義明 (進) 金木	秋元 めぐみ (新一) 中里町
--------------	----------------	----------------	----------------	----------------	--------------	--------------	-----------------

伝言板

この欄は金木町に住所を有している方々を掲載しています。
掲載を希望しない方は町民課窓口へ届出の際申し出て下さい。

●届いています
十二月三十一日
●小銭入れ(花柄模様) 金木病院一階公衆電話コーナー付近
●一月十三日
財布(二つ折り 迷彩柄) 嘉瀬本町内海商店前路上心当たりの方は、金木警察署 落し物係りまで
◎係りから
このコーナーを利用した方は企画観光課まで

人口と世帯

1月末現在	前年同月比
男 5,661人	△ 60人
女 6,278人	△ 14人
計 11,939人	△ 74人
世帯数 4,064	△ 8